

「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成30年 6月 27日

仕事の内容	民生委員推薦会事業					
担当部署・課長名	福祉部福祉推進	課	庶務	係	課長名	嶋田 淳

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。

【施策】 地域福祉の推進

(総合計画書 65 ページ)

予算名	款 3	民生費	項 1	社会福祉費	目 1	社会福祉総務費	事業 11	民生委員推薦会
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 民生委員推薦会				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 民生委員推薦会委員の出席率 → 定数14名 ※平成29年度については付議案件なしのため未実施			
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 民生委員推薦会を開き、民生委員・児童委員候補者を選出し、東京都へ推薦する。				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 民生(児童)委員実人数/民生(児童)委員定数 → 平成28年12月1日一斉改選 60/60(定数)			
	③ そのために何をしましたか。 民生委員は、民生委員法により、市の民生委員推薦会が東京都に推薦し、都の地方社会福祉審議会の意見を聴き、都知事の推薦により、厚生労働大臣が委嘱することとなっている。 地域で活動をしている市民から、適正な候補者を推薦するために、民生委員推薦会を開催し、都へ候補者を推薦した。				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) → 民生委員推薦会開催回数 0回			

2 指標の推移			単位	平成27年度実績	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度目標	平成31年度目標
	対象指標	①の数値	%	89	77	0		
	成果指標	②の数値	%	93	100	100		
	目 標	②の目標値	目標値設定の考え方 定数どおり、民生委員を配置する。					
	活動指標	③の数値		2	4	0		

3 経費	事業費(実績)		円	180,000	324,000	0	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外)年間単価は、8,253,000円 時間単価は、4,200円で計算してください。 【算出根拠】平成28年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	26,765	0	0	
		特定財源	円	153,235	324,000	0	
		(うち受益者負担)	円	0	0	0	
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.1	0.1	0.1	
		所要人数(再任用)	人				
		職員人件費(再任用以外)	円	823,300	826,700	825,300	
	職員人件費(再任用)	円					
事業費+人件費		円	1,003,300	1,150,700	825,300		

この仕事における市の裁量 市の裁量は小さい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。 昭和23年に民生委員法及び施行令が制定された。民生委員を選出することを目的としている。 民生委員の任期は3年であり、平成28年12月1日が一斉改選され、定数60名を確保することができた。	
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 社会が変化したことにより、民生委員の役割も変化し、また、地域で昼間活動できる方が減少していることから、民生委員推薦会も、候補者を選出することが難しくなっている。	

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成29年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について	
	実質的な候補者推薦は現任民生委員からの推薦者であり、民生委員推薦会は推薦のための追認機関となっており、民生委員推薦会から候補者推薦は、実質なかった。	

仕 事 の 内 容	民生委員推薦会事業					
担当部署・課長名	福祉部福祉推進	課	庶務	係	課長名	嶋田 淳

6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択しご記入ください。(複数回答可)		
	取組みは無い	取組手法	
		【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換(広報媒体:) ⑦後援・場の提供 ⑧その他()	
(2)平成30年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点をご記入ください。		特になし	
7 課 題	(1)平成28年度の課題についての解決に向けた取組や、事務改善など、平成29年度に実施したことをご記入ください。		
	民生委員のなり手が少なくなる中、次の一斉改選(H31)に向けた、候補者選定の方法について検討していく必要がある。		
	(2)この仕事を振り返り、課題をご記入ください。 高齢化等により地域における民生委員の役割が重要になってきているが、地域で昼間活動できる方が減少しているため、候補者の選出は益々難しくなっている。		
8 今 後 の 方 向 性	(1) 仕事の方向性(「7 課題(2)」を踏まえた具体的な改革・改善案など) 候補者の選出方法について、新しい方法を考える必要がある。		
	(2) 上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等を具体的にご記入ください。 他の自治体での取組みや各種団体からの選出方法等の検討を図る。		
	(3) 改革・改善案による期待成果 上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。		
成 果	成果を維持する。	経 費	仕事の経費は維持する。